

ブルトレインの検査係の 「労働本部」 添乗旅費の返上を決定!

「働こう運動」なる反動的路線の行きつく先がこれだ! 「本部」革マルを徹底断罪せよ!

これが労働組合のやる事か!?

労働「本部」革マルは、ついにその反動性をむき出しにして、右翼鉄労と一体となって「ブルトレ」の添乗旅費の返上」を率先して決定し組合員に強制するという、労働組合にあるまじき決定を行った。

この間、国鉄当局は、ブルトレインの検査係添乗旅費を一時的に廃止するという不当攻撃を加えてきたのみならず、何と過去にまでさかのぼって全額を返済せよと、6月30日を期限とした督促状をもって個人々に返済を要求していた。

周知のように、この手当は以前より労使間で確認してきた当然の生活給の一部をなすものであり「ヤミカラ」呼ばわりされる筋合いのもので

は断じてない。ところが、これに対し、労働「本部」革マルは「働いていない分については返済するのが当然」と公言して、政府自民党反動マスコミの前にひざまづき、国鉄当局の「ブルトレ」ヤミ手当回収」既得権剥奪攻撃に率先協力し、「機南決定」をもって組合員に強制するに至ったのである。

「働いていない分は返済するのが当然」として、一人平均13万円の返上を強制

しかも、これが「さかのぼって」個人を対象に」とり立てるといふ、および労働組合組織を無視抹殺し、慣行を暴力的一方的に破壊する暴挙に対し、国労等が限界をもちつつも当然にも現に反対し抵抗している真只中で、労働「本部」革マル反動分子は、鉄労と一

(裏へつづく)

労働も返済に同意



ブルトレのヤミ手当

国労、依然拒否続ける

当 15日メドに簡裁に提訴

国鉄労働組合(国労)は、労働「本部」革マルの「ブルトレ」添乗旅費返上決定に、依然として断然拒否を表明し、15日までに簡裁に提訴する意向を示している。国労は、この決定が労働組合の威信を損ない、組合員に負担を強いるものであると主張している。また、国労は、この決定が労働組合の団結を崩壊させ、労働者の生活に悪影響を及ぼすことを懸念している。国労は、労働「本部」革マルの反動路線を断絶し、労働者の利益を守るために奮闘する決意を表明している。

組合の共同歩調に亀裂

「労使交渉に応じろ」

国労当局に要請書出す

労働「本部」革マルの反動路線は、労働者の利益を損ない、組合員に負担を強いるものである。労働「本部」革マルは、労働者の生活を守るために奮闘する決意を表明している。労働「本部」革マルは、労働者の生活を守るために奮闘する決意を表明している。労働「本部」革マルは、労働者の生活を守るために奮闘する決意を表明している。